

商品事故撲滅へ



～ 岩槻支店商品事故件数【ゼロ】へ ～

そもそもどのような物が商品事故なのか？



破れによって中身の商品まで傷が有り、受取辞退となりました。



こちらはかなり軽微な物ですが、受取辞退となりました。医療品関係、食品関係は軽微な事故でも受け取って頂けない事が多々あります。



破れてはいませんが、潰れによって受取辞退となりました。

まずは当支店における状況を見ていきましょう。

以下は2022年8月実績となります。

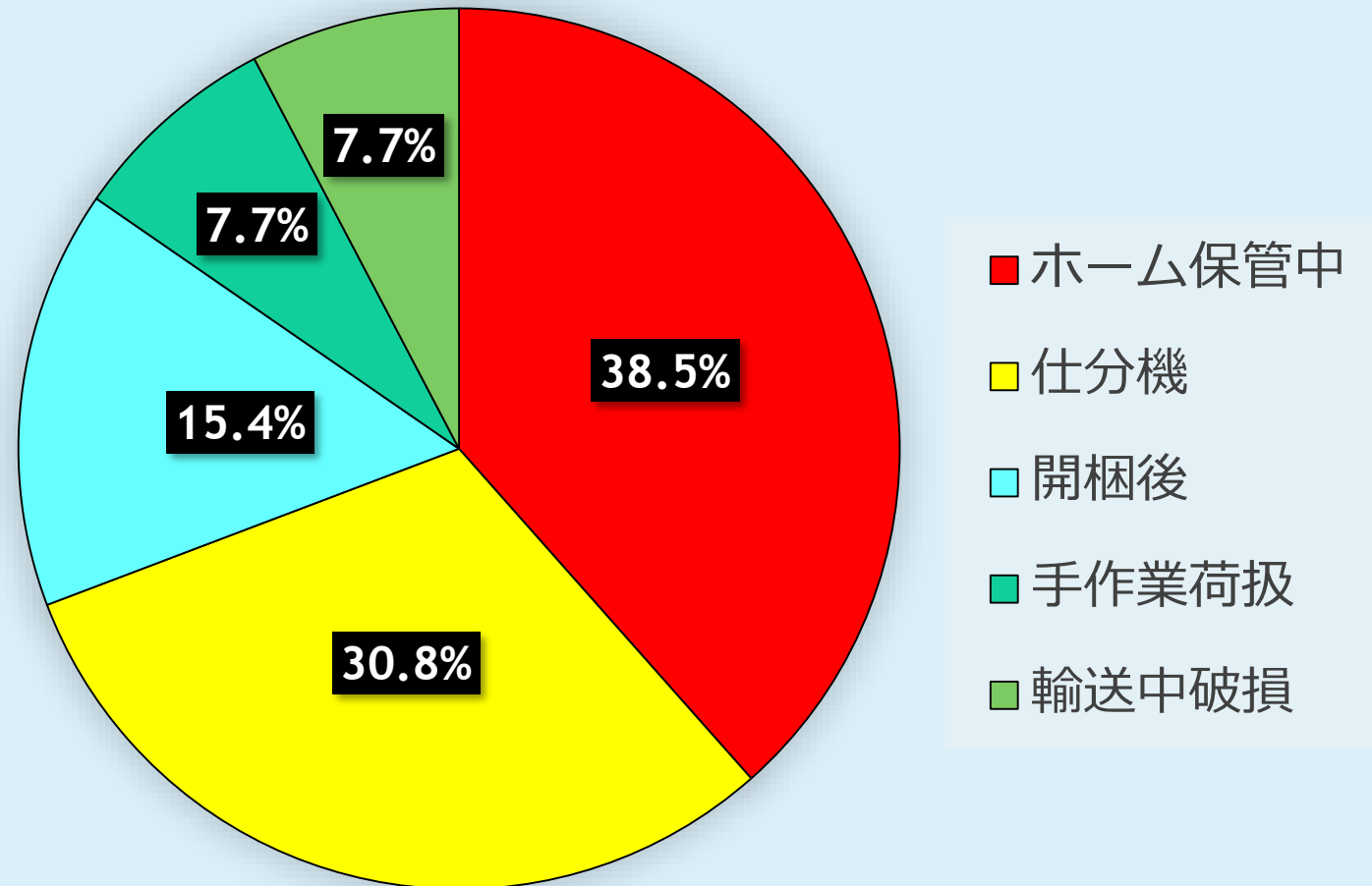
	8月											
	事故件数			事故費(千円)								
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比						
0230	水	戸	16	10	160.00%	365	243	150.14%				
0236	土	浦	26	13	200.00%	503	89	563.62%				
0240	大	宮	7	14	50.00%	165	184	90.04%				
0241	岩	槻	13	8	156.25%	119	72	165.41%				
0242	龍	ヶ	崎	12	3	400.00%	221	53	416.52%			
0245	入	間	11	12	95.65%	261	251	103.87%				
0248	越	谷	14	21	64.29%	423	221	191.63%				
0290	和	光	7	12	56.52%	142	473	29.92%				
0380	三	条	12	22	54.55%	71	184	38.40%				
0385	新	潟	10	15	63.33%	137	304	45.06%				
15	北	関	東	エ	リ	ア	126	129	97.67%	2,405	2,073	116.03%

岩槻支店では件数、金額共に増加している事が分かります。

発送	8
到着	5

手作業荷扱	1
台車等操作	0
リフト操作	0
仕分機	4
ホーム保管	5
輸送中破損	1
車両事故	0
開梱後判明	2
その他	0
発送前不明	0
到着後不明	0
合計	13

事故の内訳を見ていきますと、ホーム保管中の事故、仕分機（シューター）による商品事故が多いことが分かります。
その2つの事故で約70%を占めています。



つまり当支店においては、ホーム
保管中の事故、仕分機(シュー
ター)よる事故を削減する事が商
品事故削減への近道であり、最大
の課題となります。

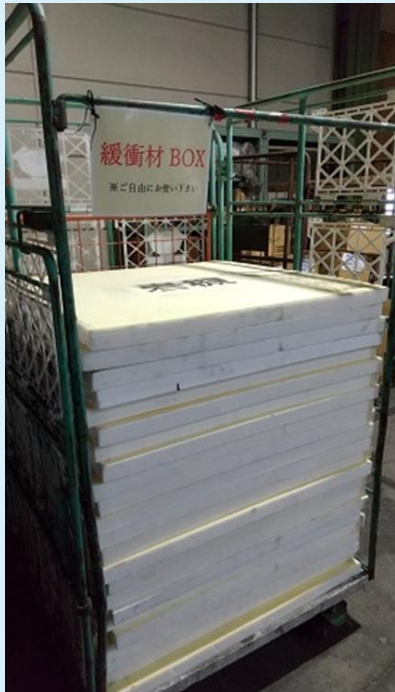
その為、ホーム保管中の事故、仕分機(シューター)による
事故の2つに焦点を絞って、対策を行う必要があります。

1、ホーム保管中事故

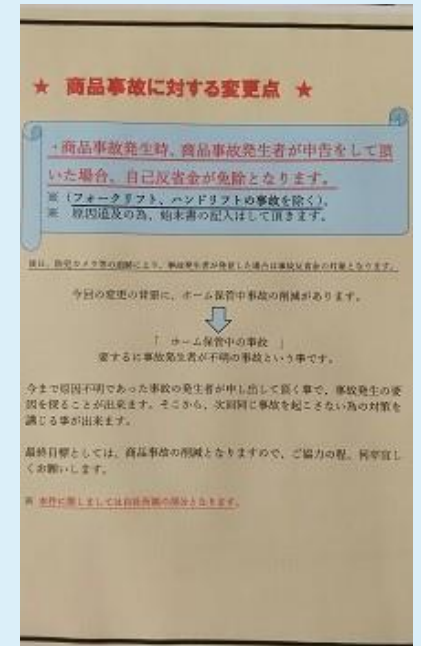
そもそもホーム保管中事故とは？

その名の通り、ホームに保管している間に発生している事故

👉 **すなわち当事者が不明な事が多いです。**



- ホームに保管する際はL字板を活用してもらおう為、L字板の増設
- 緩衝材など商品保護のための資材を用意
- 今年度より、**事故を申告して頂ければ事故反省金が免除**されるという政策がある為、その内容の落とし込みを行い、原因追及と対策を行えるようにする。



2、仕分機(シューター)による事故

仕分機による事故で多いのが、流れてくる商品が多すぎて、取り切れず、潰れたり、破れてしまうケースがあります。

- ・ 仕分機にて商品を流す際のルールの徹底
- ・ ピーク帯の集中するレーンへ取り手の応援

商品の間隔を
開けて流す



商品事故は、本来必要の無い手間と労力を必要とします。
かといってその手間と労力によって、利益が発生する訳でもありません。
本来であれば、

会社の利益となる事に手間と労力を使うべき

です。その為にも商品事故は削減していかなければなりません。

もちろん 1人では不可能であり、店所全員の協力が必要です。

1人1人が出来ることを実践し、『商品事故【ゼロ】』を目指す為、
ご協力を何卒宜しくお願いします！